

畜産試験場 平成23年度試験研究事業一覧表

一般研究事業（県単）

（単位：千円）

番号	新規	事業名	開始	終了	予算額	事業内容
1		乳牛の生涯生産性向上を目指した飼養管理技術の開発	20	23	3,495	乳牛飼養法は高タンパク質飼料多給で高乳量を確保するものであるが、乳牛の負担が大きく早期に廃用となる牛が多いため、飼料米・食品残渣を用いた低タンパク質飼料による乳牛に負担の少ない使用技術を確立する。
2	○	飼料米(粳米)活用による若狭牛づくり	23	24	2,546	牛肉が低価で推移していることや飼料価格の高止まりなど肉牛農家は厳しい経営状況にあるため、飼料米(粳米)を利用した低コスト飼養技術を確立するとともに、飼料米給与による若狭牛のブランドイメージ強化を図る。
3		ふくいポーク種豚生産試験事業	4	—	5,551	福井県のブランド豚「ふくいポーク」の生産に必要な種豚の生産を行う。
4	○	子豚から飼料米を食べた元気でおいしいふくいポークづくり	23	24	1,620	養豚農家の生産性を向上させるため、子豚への米粉発酵飼料の給与によって育成率を向上させる技術の開発、および肥育期の飼料米(粳米)の給与技術を確立する。
5		越前がに等県産素材を活用した健康によい鶏卵生産技術の確立	22	23	866	県内では越前がにの殻やそば屑・大麦屑など利用されていない素材がある。本研究ではそれら未利用の素材を活用することにより、栄養価が高く付加価値のついた卵の生産技術を確立する。
6		自給飼料生産試験事業	S37	—	1,791	本県の気候・風土に適した飼料作物の品種選定および収量を向上させる栽培技術を確立する。
合計					15,869	

地域科学技術振興研究事業（特別電源所在県科学技術振興事業費補助金）

番号	新規	事業名	開始	終了	予算額	事業内容
7		受精卵移植を活用した病気に強い乳用牛の効率的な生産技術の確立	22	25	2,460	県内の乳牛は乳房炎にかかる確率が高いため、県内にいる乳牛のうち遺伝的に乳房炎に強い優良な牛を探し出し、またそれら優良な遺伝子を持った子牛が効率的に生産される受精卵移植技術の確立を図る。
8		稲発酵粗飼料の品質向上・増収技術の開発	21	23	2,128	水田の有効活用や飼料自給率の向上のため、稲発酵粗飼料の播種・稲刈り時期、追肥の技術を研究し、多収と栄養価の高い稲発酵粗飼料を生産する技術の確立を図る。
9	○	黄体ホルモンを活用した牛受胎効率向上技術	23	25	15,650	本県の乳牛は1頭あたりの生産乳量や分娩回数が全国に比べ少ないことから、黄体ホルモン製剤を用いて、黄体ホルモン値および血液性状値との関係を解明することにより、受胎率を向上させる技術を確立する。
10	○	カニ殻を利用した良質畜ふん堆肥づくり	23	25	1,816	本県の冬は牛糞の堆肥化に必要な発酵温度が十分には確保しにくいことが課題となっている。越前がにの殻を牛糞に混合して発酵を促進させることにより冬季でも良質な堆肥を生産する技術を開発する。
合計					22,054	